

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年4月7日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：松浦長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○松浦総務課長 それでは、皆様のお手元の広報日程に基づきまして、私の方から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1.の(2)番、第3回原子力規制委員会の臨時会議でございます。こちらは、原子力事業者との意見交換を原子力規制委員会との間で続けておりますけれども、今回は、議題にもありますように九州電力の経営者に来ていただきまして、原子力規制委員会と安全性向上について、意見交換させていただく予定でございます。

続きまして、同じく1ページ、2.の(2)番、4月11日火曜日、第19回廃炉等に伴う放射性廃棄物の規制に関する検討チームでございます。こちらにつきましては、いわゆる中深度処分に関しまして、放射線防護基準について、現在、原子力規制委員会の中で検討が進んでいるところでございます。今般、この検討チームにおきまして、放射線防護基準の考え方について骨子案を事務方の方で作成いたしましたので、この検討チームで有識者の方を含めて議論をしていきたいと考えております。

続きまして、2ページ目、4月12日水曜日、第11回の東海再処理施設等安全監視チームの会合でございます。こちらは議題が3つございます。

まず、現在続いておりますガラス固化処理の進捗状況について、JAEAの方からお話を伺います。

議題の2番目といたしましては、JAEAの方から廃止措置計画についてなるべく早く提出したいという意向が示されておりますけれども、廃止措置計画の進捗状況につきましてJAEAの方からお話を伺う予定でございます。

最後、議題の3番目になります。こちらは、そこにありますように「施設の安全確保」「施設の集約化・重点化」、また「バックエンド対策」につきまして、JAEAの方が4月1日に計画を作成されたということでございますので、その計画についてJAEAの方からお話を伺う予定でございます。

続きまして、同じく2ページ目、4月13日木曜日、(6)番、第2回の緊急時活動レベルの見直し等への対応に関します会合でございます。こちらはいわゆるEALの見直しですが、現在、原子力規制委員会の中で進んでおりますけれども、事務方と委員、あと、事業者

の方も交えてEALの発動権につきまして議論を続ける予定でございます。今回は事業者の方から提案を伺うというセッションと聞いております。

私の方からは以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ナガマツさん。

○記者 西日本新聞社のナガマツと申します。

14日金曜日に九州電力の経営者を呼んで臨時委員会が予定されていますが、これはどういう趣旨というか、内容になりそうなのかというのを。

○松浦総務課長 まだテーマについては決まっておられませんけれども、もう過去においてやられたように、九州電力において現在とられている安全・治安のための様々な対策であるとか、安全性に関する個別のトピックについて議論されるものだと思います。特に何か変わったことがあるというようなことではないと思います。

○記者 社長が来る予定なのですか。

○松浦総務課長 瓜生社長が来ると伺っております。

○記者 分かりました。ありがとうございました。

○司会 ほかにございますでしょうか。ヒガシヤマさん。

○記者 朝日新聞のヒガシヤマです。

13日のEALの議論ですけれども、ヒアリングというか、相手方の事業者というのはどのあたりの方が来られるのでしょうか。

○松浦総務課長 前回もいらっしゃったと思いますけれども、電事連の方と、それと日本原燃の方からお話を伺うと聞いております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—